

第4回 神代川かわまちづくり推進協議会 神代川かわまちづくり八百万神の会

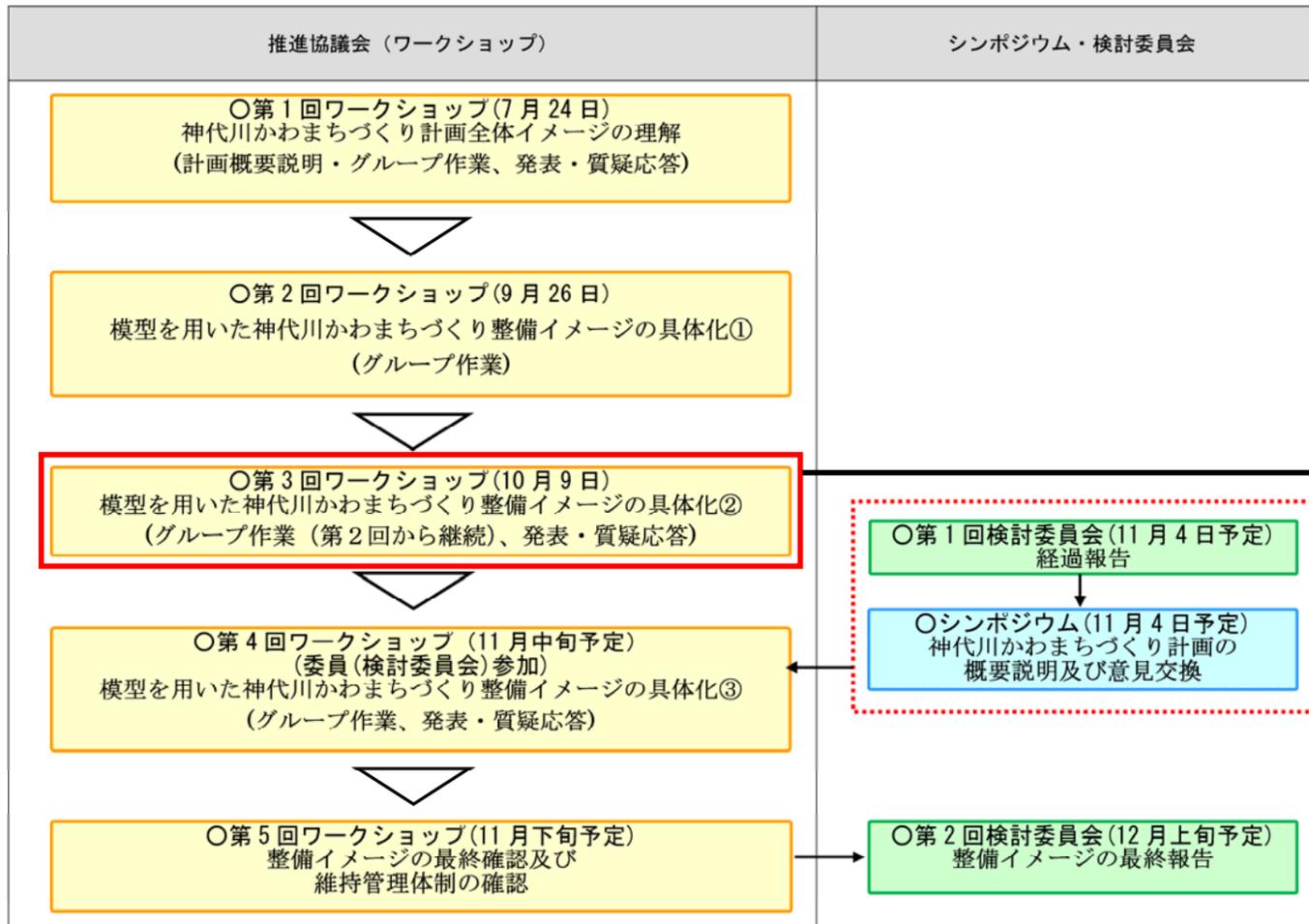
第3回 WS 資料

1. WSの進め方について P. 1
2. 第2回WS班別検討結果 P. 2
3. 第2回WS・第3回WS検討内容 . . . P. 4
4. グループ作業資料 P. 5

平成26年10月9日(木)

1. ワークショップの進め方について

ワークショップ全体の流れ



第3回ワークショップの流れ

次第	内容	所要時間										
1. 挨拶・はじめに	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 ワークショップ全体の流れについて 	19:00～19:10 (10分)										
2. グループ作業内容について	<ul style="list-style-type: none"> 第2回ワークショップの結果について 第3回ワークショップの内容について 班分け変更説明 (3・4班は合同) 第2・3回ワークショップの結果とりまとめについて 	19:10～19:30 (20分)										
3. グループ作業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>天真名井</th> <th>皇子橋周辺</th> <th>くしふる周辺 バスセンター周辺</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①ルート設定 <ul style="list-style-type: none"> 河川形状、川幅 ②施設配置 <ul style="list-style-type: none"> 管理用通路、川に降りる場所、広場、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 <ul style="list-style-type: none"> 護岸形状、管理用通路の幅員、広場の規模、休憩施設のデザイン ④その他 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①ルート設定 <ul style="list-style-type: none"> 観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 </td> <td>19:30～20:30 (60分)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <ul style="list-style-type: none"> 検討結果とりまとめ </td> <td>20:30～20:40 (10分)</td> </tr> </tbody> </table>	天真名井	皇子橋周辺	くしふる周辺 バスセンター周辺	<ul style="list-style-type: none"> ①ルート設定 <ul style="list-style-type: none"> 河川形状、川幅 ②施設配置 <ul style="list-style-type: none"> 管理用通路、川に降りる場所、広場、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 <ul style="list-style-type: none"> 護岸形状、管理用通路の幅員、広場の規模、休憩施設のデザイン ④その他 	<ul style="list-style-type: none"> ①ルート設定 <ul style="list-style-type: none"> 観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 	19:30～20:30 (60分)	<ul style="list-style-type: none"> 検討結果とりまとめ 			20:30～20:40 (10分)	
	天真名井	皇子橋周辺	くしふる周辺 バスセンター周辺									
<ul style="list-style-type: none"> ①ルート設定 <ul style="list-style-type: none"> 河川形状、川幅 ②施設配置 <ul style="list-style-type: none"> 管理用通路、川に降りる場所、広場、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 <ul style="list-style-type: none"> 護岸形状、管理用通路の幅員、広場の規模、休憩施設のデザイン ④その他 	<ul style="list-style-type: none"> ①ルート設定 <ul style="list-style-type: none"> 観光施設周遊ルート、観光客の導線 ②施設配置 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場、行先案内板、施設説明板、休憩施設 ③施設デザイン、規模等 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の規模、周遊ルートの舗装・手すり等、町道の車道・歩道等、案内板 ④その他 	19:30～20:30 (60分)										
<ul style="list-style-type: none"> 検討結果とりまとめ 			20:30～20:40 (10分)									
4. 班別発表	<ul style="list-style-type: none"> 各班から取りまとめ結果を報告 	20:40～20:55 (15分)										
5. 次回以降の予定について	<ul style="list-style-type: none"> シンポジウム・委員会→次回WSの開催連絡 	20:55～21:00 (5分)										

2. 第2回WS・第3回WSの検討内容

真名井周辺・皇子橋周辺の検討内容

テーマ：大まかな河川形状を考える	
第2回WS	<p>1. 他のゾーンとの連続性はどのように考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画範囲における対象地の利用目的を想定し、対象地のあり方等を検討する ⇒他の散策ルートとセットで利用など連続性を含めた対象地の整備の方向性等を検討 ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考に、対象地全体の整備の方向性等を話し合う
	<p>2. 河川形状をどのようにするか</p> <p>①川の流れをどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事により直線的となった河道をどのように整備するか検討する ⇒旧河道に近づけるなど河道形状の検討を行う。 ・資料は、かわまちづくり計画書の神代川の整備状況（P25）、空中写真や現況模型等を参考に、改修が可能な用地範囲を想定し、大まかな河道形状について話し合う <p>②川幅をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の画一的な川幅について、どのような整備するかを検討する。 ⇒【真名井】パラペットの撤去、拡幅等 【皇子橋】公園化等を考慮した拡幅等 ・資料は、かわまちづくり計画書の整備イメージP34・P38）等を参考にしながら、「検討内容2」の検討結果等も踏まえ、模型を元に大まかな形状を検討する。 <p>③管理用通路はどのように確保するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川管理に必要な管理用通路の設置方法を検討する。 ・管理用通路は、片側もしくは両側、幅員としては車両通行可能 3～4m、歩行用 2～3mを目安に、最低でも片側に車両通行可能な管理用通路を設置できるよう計画する
テーマ：細部のデザインを考える	
第3回WS	<p>3. 人が利用する場所はどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散策・親水など一般利用を目的とした利用場所（河道内・高水敷・天端等）を検討する ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考にしながら、模型を元に大まかな形状を検討する
	<p>4. 川に降りる場所をどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親水を目的として川に降りる場所を検討する ・「検討内容5」の検討結果も踏まえ、川に降りる場所について設置の有無、場所、構造（緩傾斜・階段等）を、模型を元に大まかな形状を検討する <p>5. 水際や護岸はどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際や護岸の構造について検討する ・他事例の写真等を参考としながら、場所毎に水際、河床、護岸構造（自然石・化粧ブロック等）をどのように整備するか検討する <p>6. 利用施設はどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般利用に対し、利用施設（植栽・案内板・休憩施設等）の配置等を検討する ⇒【植栽】樹種選定、配置計画 ⇒【案内板・休憩施設】デザイン・構造（間伐材利用等）検討、配置計画

くしふる周辺・バスセンター周辺の検討内容

テーマ：ルート整備方針・課題と大まかなデザインを考える	
第2回WS	<p>1. 他のゾーンとの連続性はどのように考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり計画範囲における対象地の利用目的を想定し、対象地のあり方等を検討する ⇒他の散策ルートとセットで利用など連続性を含めた対象地の整備の方向性等を検討 ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考に、対象地全体の整備の方向性等を話し合う
	<p>2. ルート整備の課題と大まかなデザイン</p> <p>①ルート上に他に拠点となる場所はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画案に示されている以外の拠点施設の有無等を確認する ・資料は、かわまちづくり計画の各ゾーンの整備方針等（P32～P39）や、全体地形模型、空中写真等を参考に、拠点施設のもれ、新たな眺望スポットの有無等について話し合う <p>②ルート設定はどのように考えるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ゾーンについて、ゾーン単独での周遊ルート、他のゾーンとの連続性を考慮した周遊ルートについて検討する ・資料は、かわまちづくり計画の全体ゾーニングや各ゾーンの整備方針等（P26～P39）を参考に、対象地をどのように利用してもらうかを想定しながらコース設定を行う <p>③ルート整備に問題はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルート設定の検討結果を踏まえ、検討ルートの課題・問題点等を検討する ⇒散策ルート変更・舗装整備・サイン等の必要性 ・資料は、かわまちづくり計画の各ゾーンの整備方針等（P32～P39）や現地写真、空中写真等を参考に、ルートの不足、歩きやすさ等の課題点について話し合い、舗装や階段、ルート変更、サインの必要性について検討する。
テーマ：細部のデザインを考える	
第3回WS	<p>3. ゾーンを結ぶ幹線道路に整備の必要性はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる周辺とバスセンター周辺を結ぶ町道整備における舗装・サイン等について検討する。 ・「検討内容3」の結果を踏まえた町道から周遊ルートへの誘導や、ゾーンを接続する幹線道路として歩道および車道の舗装、照明灯の整備の必要性について検討する。
	<p>4. 各拠点について整備の必要性はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルート上の拠点における休憩施設・駐車場等の整備の必要性を検討する ・資料は、個別の拠点施設の写真等を参考として、現状のままでよいか、何らか手を加える等の整備が必要か等を検討する <p>5. 個別の施設計画はどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別施設のデザインや構造について検討する ・他事例の写真等を参考としながら、施設別にどのようなデザイン、構造とするかを検討する <p>6. 観光施設としてPRをどのようにするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用促進に向けたPR方法について検討する ・PR方法については、整備中、整備後のPR方法に分類し、また、地元が出来ること、行政が行うべきことに分けて、かわまちづくり計画全体を見据えたPRのあり方を検討する

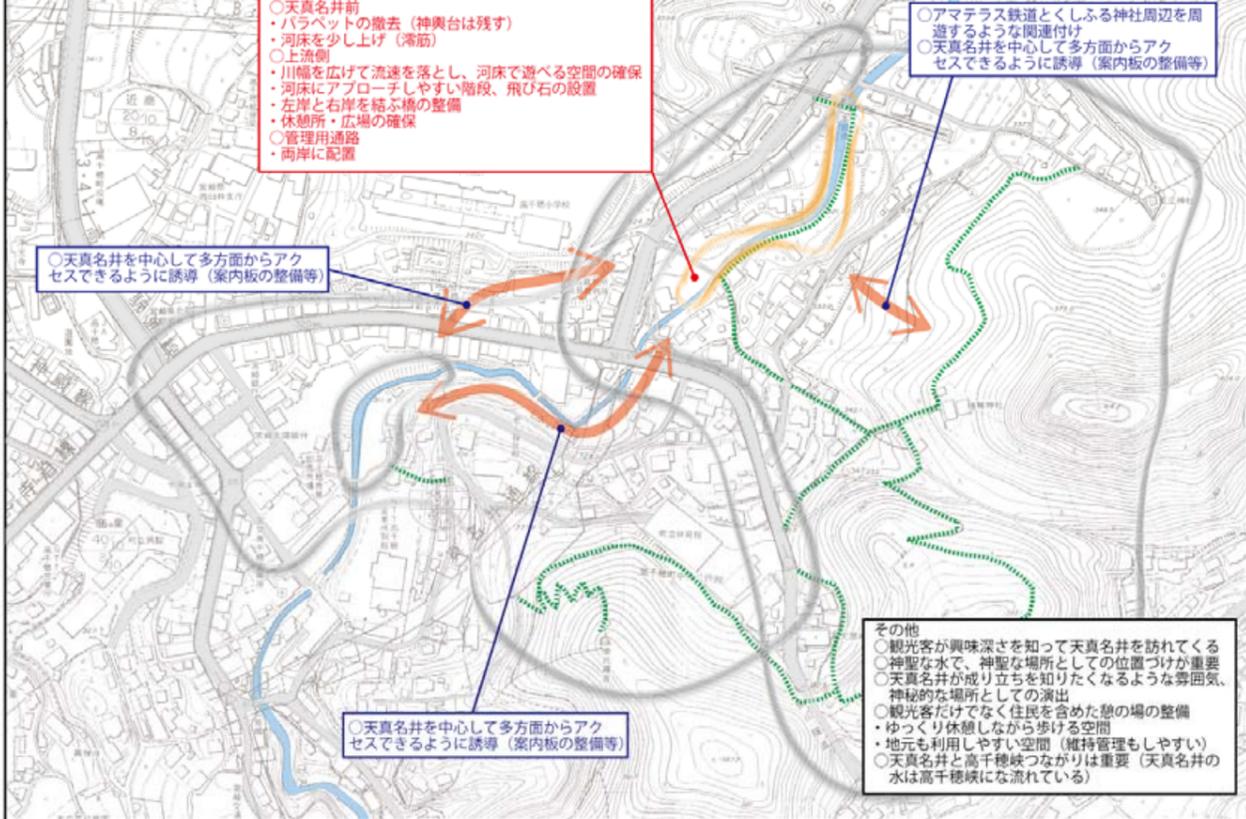
3. 第2回WSの班別検討結果について

■日時：平成26年9月26日（金） 19:00～

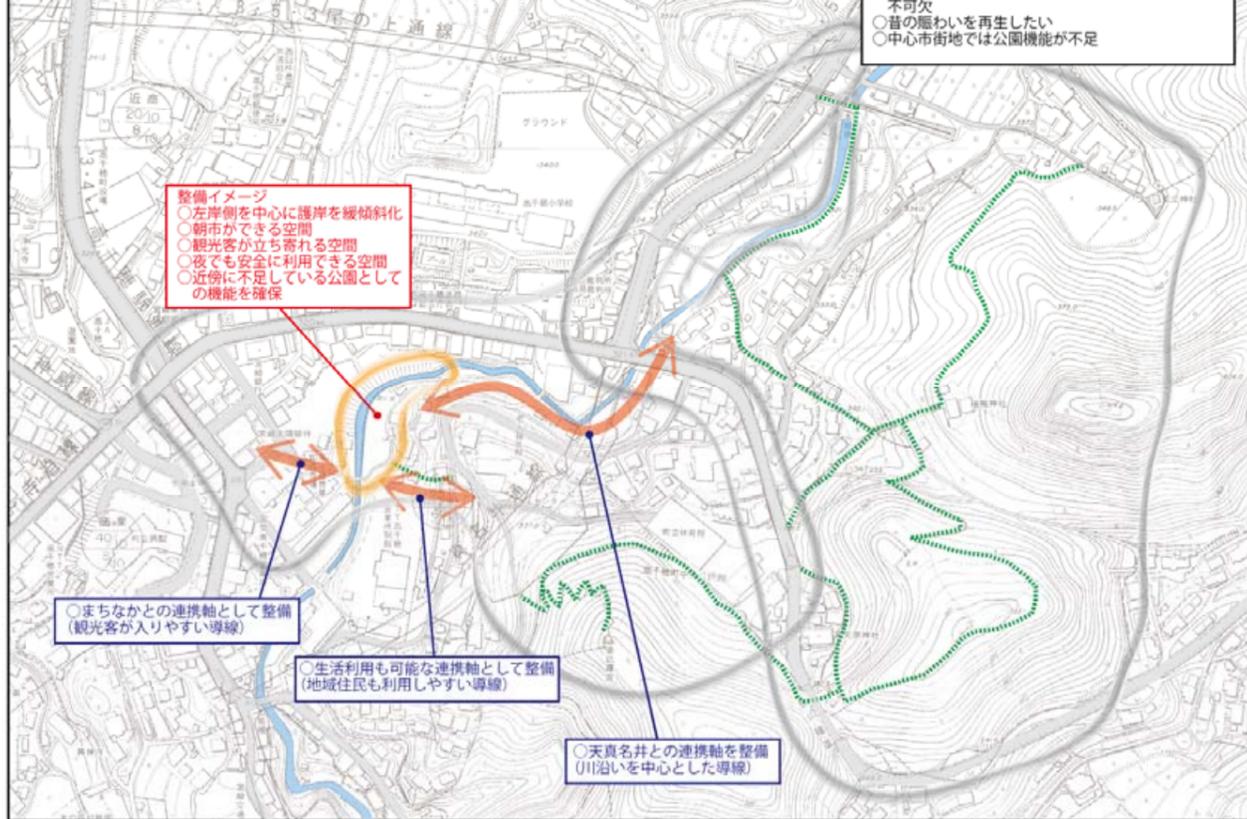
■場所：西臼杵支庁 大会議室

	ゾーンの位置づけ	天真名井周辺	皇子橋周辺	くしふる周辺	バスセンター周辺	その他
1班 天真名井周辺	かわまちづくり計画の中心として、水と歴史にふれられる空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井前 <ul style="list-style-type: none"> ・パラペットの撤去（神輿台は残す） ・河床を少し上げ（滞筋） ○上流側 <ul style="list-style-type: none"> ・川幅を広げて流速を落とし、河床で遊べる空間の確保 ・河床にアプローチしやすい階段、飛び石の設置 ・左岸と右岸を結ぶ橋の整備 ・休憩所・広場の確保 ○管理用通路 <ul style="list-style-type: none"> ・両岸に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○アマテラス鉄道とくしふるの神社周辺を周遊するような関連付け ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井を中心して多方面からアクセスできるように誘導（案内板の整備等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客が興味深さを知って天真名井を訪れてくる ○神聖な水で、神聖な場所としての位置づけが重要 ○天真名井が成り立ちを知りたくなるような雰囲気、神秘的な場所としての演出 ○観光客だけでなく住民を含めた憩の場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり休憩しながら歩ける空間 ・地元も利用しやすい空間（維持管理もしやすい） ○天真名井と高千穂峡つながりは重要（天真名井の水は高千穂峡にな流れている）
2班 皇子橋周辺	まちなかと天真名井周辺をつなぎ、観光客と地元住民が共に楽しめる親水空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井との連携軸を整備（川沿いを中心とした導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○左岸側を中心に護岸を緩傾斜化 ○朝市ができる空間 ○観光客が立ち寄れる空間 ○夜でも安全に利用できる空間 ○近傍に不足している公園としての機能を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活利用も可能な連携軸として整備（地域住民も利用しやすい導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちなかとの連携軸として整備（観光客が入りやすい導線） 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇子橋付近だけではなく天真名井との連携が必要不可欠 ○昔の賑わいを再生したい ○中心市街地では公園機能が不足
3班 くしふる周辺	天真名井を起源とした神々の歴史と自然を感じられる空間	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の利便性に配慮した周遊ルートの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・神代川右岸側遊歩道整備 ・左岸・右岸をつなぐ橋の整備、 ・荒立神社参道から市道を迂回しないルートの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要ポイントにおける誘導施設の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社 ・荒立神社 ・天真名井 ・国道220号一本木交差点 ○神々を巡るルートの特徴づけ（記紀に基づくルート設定等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○主要ポイントにおける誘導施設の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社 ・荒立神社 ・天真名井 ・国道220号一本木交差点 ○主要ポイントにおける駐車機能の強化（大型車の対応） <ul style="list-style-type: none"> ・くしふる神社前 ・荒立神社 ・荒立神社参道入口付近 ○天真名井からくしふるの神社に至る遊歩道周辺の景観整備（擁壁の修景化等） ○荒立神社参道から地蔵菩薩を巡るルートの構築（ショートカットルート） ○神々を巡るルートの特徴づけ（記紀に基づくルート設定等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○バスセンターエリアとの連携軸整備（金毘羅宮へのアクセス道路） 	<ul style="list-style-type: none"> ○荒立神社の裏山整備（個人主導）との連携
4班 バスセンター周辺	観光客の移動拠点として、歴史施設などの情報を発信する空間	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井・くしふる周辺への遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・天真名井やくしふる周辺との連携は、神代川の遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○自然の形を生かした遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装等、大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○皇子橋周辺の管理用通路と一体化した遊歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○天真名井・くしふる周辺への遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・天真名井やくしふる周辺との連携は、神代川の遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい ○自然の形を生かした遊歩道整備 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装等、大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○高千穂町内観光の移動拠点整備 <ul style="list-style-type: none"> ・バスセンター裏を駐車場として、観光客の移動拠点としての整備 ・外国語に対応した、わかりやすいマップの作成（天孫降臨をイメージできるマップ） ○天真名井・くしふるエリアとの接続 <ul style="list-style-type: none"> ・神代川沿いの遊歩道でつなぐ動線がよい（金比羅側のルートは傾斜が急なため） ・川沿いを歩いて、後藤商店へ出るルートがよい 	<ul style="list-style-type: none"> ○町道整備について <ul style="list-style-type: none"> ・河川遊歩道の整備を最優先としてほしい。 ・町道は町民の利便性を考慮し、歩道拡幅による車線の減少や交通規制等は行わないでほしい。 ○駐車場について <ul style="list-style-type: none"> ・散策ルートや町内を歩いてもらうためには、駐車場は少ない方がよい。（3班との意見を合わせるためにも、一緒に検討を行いたい。）

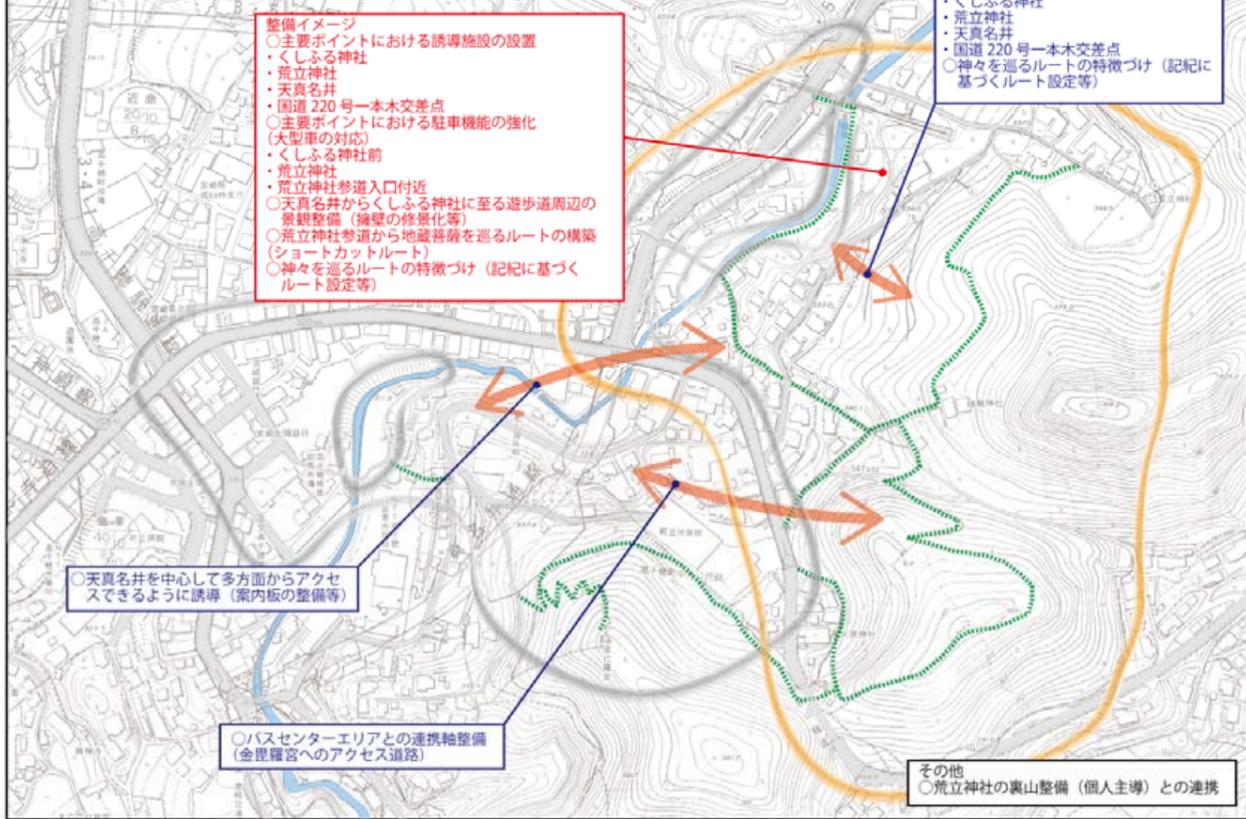
1班：天真名井周辺



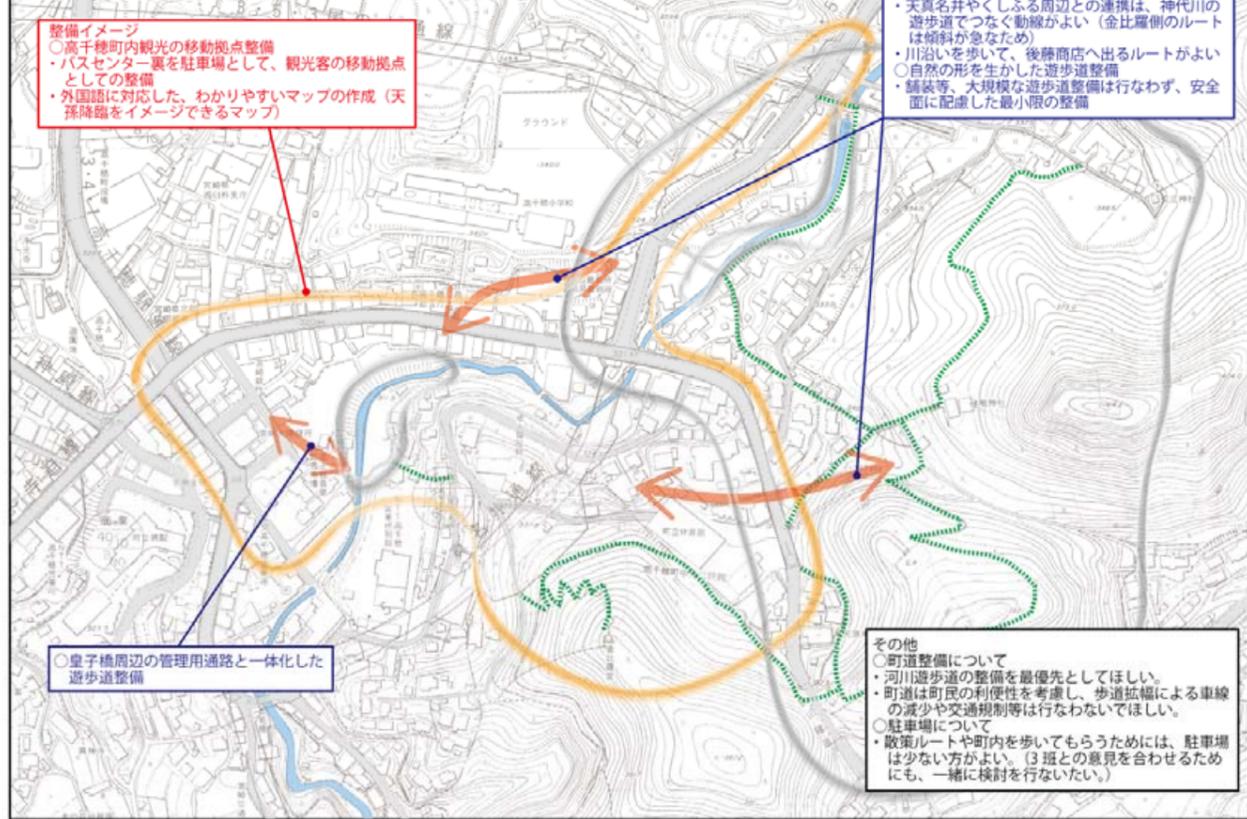
2班：皇子橋周辺



3班：くしふる神社周辺



4班：バスセンター周辺



4. グループ作業内容について

1班. 天真名井周辺	
【ゾーンの位置づけ】かわまちづくり計画の中心として、水と歴史にふれられる空間	
検討項目	前回意見
①ルート選定 ・河川の流れや川幅をどうするか ②施設配置 ・川へ降りる場所をどこにするか ・管理用通路をどちらに配置するか ・休憩所の配置をどこにするか ③施設デザイン・イメージ ・護岸、河床について ・管理用通路の幅員や舗装について ・休憩所の施設やデザインについて ・天真名井前広場の計画、規模について ④その他 ・	①ルート選定 ・旧河川の流れに戻し、川幅を広げて流速を落とす → 模型で表現 ②施設配置 ・現在の夜泣き石付近の左岸に、広い階段と飛び石を設置 → 模型で表現 ・両側に配置し、橋でつなげる → 模型で表現 ・ ③施設デザイン・イメージ ・神輿台は残し、パラペットは撤去する → 具体的な広さはどの程度か ・ ・ ・ ④その他 ・
2班. 皇子橋周辺	
【ゾーンの位置づけ】まちなかと天真名井周辺をつなぎ、観光客と地元住民が共に楽しめる親水空間	
検討項目	前回意見
①ルート選定 ・河川の流れや川幅をどうするか ②施設配置 ・川へ降りる場所をどこにするか ・管理用通路をどちらに配置するか ・休憩所や広場の配置をどこにするか ③施設デザイン・イメージ ・護岸、河床について ・管理用通路の幅員や舗装について ・休憩所や広場のデザインについて ④その他 ・	①ルート選定 ・河道は現状を基本として大きく変えない → 模型で表現 ②施設配置 ・左岸を中心に緩傾斜化する → 模型で表現 ・管理用通路は左岸の境界沿いを中心に設置 → 模型で表現 ・皇子橋付近の左岸に駐車場を設置 → 模型で表現 ・左岸全体を広場として公園化 → 模型で表現 ③施設デザイン・イメージ ・夜でも安全に利用できる空間（照明設置） → より具体的な整備イメージを検討 ・朝市ができる空間 → 仮設 or 常設等 ・ ・ ④その他 ・
3班・4班. くしふる神社周辺・バスセンター周辺	
【ゾーンの位置づけ】（くしふる神社周辺） 天真名井を起源とした神々の歴史と自然を感じられる空間	
【ゾーンの位置づけ】（バスセンター周辺） 観光客の移動拠点として、歴史施設などの情報を発信する空間	
検討項目	前回意見
①ルート選定 ・周遊ルートをどうするか ②施設配置 ・駐車場をどこに配置するか ・休憩所やベンチをどこに配置するか ・案内板をどこに配置するか ③施設デザイン・イメージ ・休憩所の施設やデザインについて ・遊歩道の幅員や舗装について ・町道の幅員や舗装について ④その他 ・	①ルート選定 ・【くしふる】荒立神社参道から地藏菩薩を巡るルートの構築（ショートカットルート） ・【くしふる】神々を巡るルートの特徴付け（記紀に基づくルート設定等） → 具体的なルートを図示 ・【バスセンター】神代川の管理用通路をメインにした、くしふる周辺との連携 → 具体的なルートを図示 ②施設配置 ・【くしふる】各ポイントにおける駐車機能を強化し、大型車への対応も（くしふる神社前、荒立神社前、荒立神社参道入口） ・【バスセンター】散策ルートや町内を歩いてもらうため、駐車場の箇所は少ない方がよい（バスセンター裏） → 駐車場に関しては、3・4班で意見が異なるため調整 ・【くしふる】くしふる神社、荒立神社、天真名井といった主要施設への誘導を → 具体的なルートや施設の位置等を図示 ③施設デザイン・イメージ ・【バスセンター】大規模な遊歩道整備は行わず、安全面に配慮した最小限の整備としたい（自然の形を生かした遊歩道整備） → より具体的な整備イメージを検討 ・【バスセンター】町道は地元住民の利便性を最優先とし、最小限の整備としてはほしい（歩道拡幅による車線の減少や、交通規制等は行わない） → より具体的な整備イメージを検討 ④その他 ・